

# 令和3年度 教育部長マニフェスト(総括)

教育部長

女澤 康子

## 【基本方針】

基本理念である「子どもたちに誇れる笑顔日本一のまち久慈」の実現に向け、学校教育及び生涯学習の充実を推進するとともに、生涯スポーツの振興に努め、地域を担う総合力豊かな人材の育成と生涯にわたる豊かな学びの場の充実に取り組みます。

## 【重点目標】

### 1. 学校教育の充実

達成  
状況

一部達成

#### ○内容

- ① 情報教育の充実のため、学習系ネットワーク通信環境の整備に取り組みます。具体的には、全小中学校のインターネット接続方法を、各学校が直接インターネットへ接続する方式に9月末までに改修します。また、教員のICT活用指導力の向上に取り組み、「児童生徒のICT活用を指導することができる教員の割合」の向上(R1実績70.1%→R3目標80.0%)を目標とします。
- ② 小中学生の学力向上のため、指導主事の訪問や各種研修会の充実により、各学校の授業改善を図ります。CRT(教研式標準学力検査)による「学習状況が良好な児童生徒の割合」を小学生は86.0%以上、中学生は67.0%以上を目標とします。
- ③ 小中学校の適正配置を推進するため、「小中学校の適正配置に関する基本方針」に沿って、来内小学校及び宇部中学校の児童生徒の保護者及び地域住民との意見交換、協議(各2回以上)を行います。【コロナ影響】

#### ●取組結果

- ① 学習系ネットワーク通信環境の整備については、8月の2学期開始までに各学校が直接インターネットへ接続する方式に全て改修しました。教員のICT活用については、ICT支援員による訪問形式での研修会の実施や、久慈市教育研究所にICT活用特設委員会を設置し、活用例を発信する等タブレットの利活用の推進に努めました。また、教員対象の研修会をオンラインで開催するなど活用の幅を広げ、指導力の向上に取り組みました。児童生徒のICT活用を指導することができる教員の割合は85.2%(R3実績)となり目標を達成しました。
- ② 児童生徒の学力向上のため、全小中学校に、指導主事が訪問し、授業の様子や校内研究の計画について指導を行いました。各校の研究計画に沿った学習指導が行われており、教員が共通理解の下、授業改善が図られてきています。CRT(教研式標準学力検査)による「学習状況が良好な児童生徒の割合」については、小学生は87.5%、中学生は75.8%となり目標を達成しました。
- ③ 来内小学校(7月)及び宇部中学校(4月)において保護者を対象とした意見交換会を実施し、前期計画期間(令和4年度まで)での統合の合意が得られないことを確認しました。また、年度末にも教職員の配置や児童生徒数の推移などの情報を提供しながら、各地域において意見交換会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、今年度中の開催を見送ることとし、各校の保護者代表者に対し、今後も継続して協議していくことを確認しました。

### 2. 生涯学習の充実

達成  
状況

一部達成

#### ○内容

- ① 学校・家庭・地域が一体となって、子どもの成長を支える環境づくり・意識の高揚を図るため、「学校支援地域本部事業」を小学校11校及び中学校6校で実施し、ボランティア延べ5,000人の参加を目標とします。【コロナ影響】

#### ●取組結果

- ① 「学校・家庭・地域の連携協力推進事業」として実施してきた「学校支援地域本部事業」は小・中学校17校において、学習支援や環境整備等に地域のボランティアに参加いただきました。参加ボランティアは1月末時点で5,098人となり、目標を達成することができました。今後さらに増加する見込みとなっております。

- ② 市民自ら学ぼうとする意欲を支援し、幅広いニーズに合わせた図書館機能の充実を図るとともに、観光交流センターと連携し利用促進に努めます。入館者数10万人及び市民1人当たりの図書貸出数4冊を目標とします。【コロナ影響】
- ③ 久慈出身の武将、南部(大浦)光信公と津軽氏にゆかりの5自治体が交流する「歴史文化で結ぶ交流事業」開催に併せて、郷土の歴史や文化について理解を深めることを目的に、「光信公資料展」を開催し、1,000人の来場者数を目標とします。【コロナ影響】

- ② 図書館機能の充実を図るとともに、親しまれる施設運営に努めましたが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、目標には達しませんでした。今後はさらに多様なニーズに応じた事業を展開し、利用促進に努めます。
  - 図書館入館者数 89,651人(2月末現在)
  - 市民一人当たりの貸出冊数 3.7冊
- ③ 「歴史文化で結ぶ交流事業」及び「光信公資料展」は、新型コロナウイルス感染症拡大のため今年度の開催を断念しました。また、「生涯学習のつどい」に併せて開催する「文化財展」も同様に中止となりました。交流事業については令和4年度の実施に向け準備を進めます。また、郷土の歴史文化について理解を深めるための事業の実施を検討します。

### 3. 生涯スポーツの振興

達成  
状況

未達成

#### ○内容

- ① 生涯スポーツの充実のため、市民誰もが主体的、継続的にスポーツに親しみ、健康増進と体力づくりができる環境の整備・充実に努めます。また、「あまちゃんマラソン」を開催し、当市の魅力を全国に発信します。参加人数については、800人を目標とします。【コロナ影響】
- ② 「柔道のまちづくり」の推進のため、三船十段記念館を拠点とし、各種大会・教室の開催及び三船久蔵十段の偉業と功績の発信等により、柔道の普及と施設の利用促進を図ります。総人口に占める入館者及び道場利用者数の割合30%以上を目標とします。【コロナ影

#### ●取組結果

- ① 生涯スポーツの充実のため、市民誰もがスポーツに親しみ、健康増進と体力づくりができる環境の整備に努めました。「あまちゃんマラソン大会」は、9月26日に開催を予定し、定員800人のところ760人の申し込みがありましたが、新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言が発令されたこと等により安全な開催が困難であることから、中止としました。
- ② 三船十段記念館の施設の利用促進については、新型コロナの感染拡大による緊急事態宣言が発令されたことにより、臨時休館となったことや各種大会(市長杯、中体連・高体連大会)、錬成会の中止、会場変更等で利用されなかったことにより目標の達成とはなりません。
  - 三船十段記念館入館者、道場利用者数(令和4年2月末現在)
    - ・入館者数 339人
    - ・道場利用者数 6,781人 合計7,120人
    - ※総人口に占める割合 21.3%
  - 岩手緊急事態宣言による臨時休館日数
    - ・資料館 35日間(8/13～8/31、9/4～19)
    - ・柔道稽古休 39日間(8/13～9/21)
    - 30日間(2/6～3/7)
    - 計69日間

※【コロナ影響】…新型コロナウイルス感染症の影響を受けることが予想される目標